

—夢・大地 みんなが愛する水の里—

とよみ 市議会だより



2019

第57号

2月1日



議会を体験!
(宝江小学校)



目次

12月定期議会	2
常任委員会報告	4
一般質問	8
議会モ二夕一募集	18

総務企画常任委員会

総合支所の新体制

目的に沿うよう「カイゼン」を



9支所に赴き「新体制」の現状と課題を調査

○支所の新体制の現状と課題、地域づくり検討会議の状況

(11月14日、15日調査)

市長の政策、また、総合支所の在り方検討委員会からの報告受け、30年4月から各総合支所に権限と財源を付与し、さらに職員も増員することで、支所を新体制とした。

目的は、「地域の特性を活かしたまちづくりを進めること」だが、権限は市道や防犯灯の維持管理など軽微な修繕に限られ、財源については200万円(津山町)から600万円(中田町)の配分にとどまっている。また、職員も増員したが、土木管理経験者などではないため、現場での判断、作業工法の選択などに戸惑うことも多いという。これでは、本来の目的とは程遠いと感じた。

軽微な案件について「市の対応が早くなった」という市

○下水道事業の地方公営企業法適用と上下水道事業の統合

(9月12日調査)

8月31日に開かれた市政政策会議で、下水道事業の地方公営企業法適用と上下水道事業の統合が決定された。背景には総務大臣通知があり、人口3万人以上の自治体の下水道事業は、32年度までに公営企業会計を適用するよう要請されたことによる。

また、上下水道事業の組織統合は、既に法適用している水道事業と統合することで、事務の効率化、経費削減、市民生活の向上が期待される。

32年4月からの「新体制」による事業開始まで、1年半程の準備期間しかないが、組織統合が行政運営上のメリットになり、利用者には料金還元など、市民生活向上につながるよう関係部局と綿密に検討され進められたい。

教育民生常任委員会

病院事業の不良債務は 解消策を策定すべき



▼病院事業の資金不足比率の報告

(9月12日調査)

29年度の病院事業は、患者数の減少により収益が減少、職員数の増などにより給与費が増加。委託料、賃借料等の経費も増加し、経常経費は9億335万2千円となり、前年度比3億338万9千円の損失増となった。さらに退職給付引当金繰入額などが加算され、純損失が12億503万6千円となり、不良債務額7億527万8千円が発生した。

不良債務は25年度に一度解消が図られたが、26年度以降に会計基準の見直しの影響で再度発生した。28年度は2億7687万2千円であり、29年度は前年度比4億7591万4千円の増となった。

今回発生した不良債務は、その解消に早急に対応すべきである。一般会計からの規

外繰入を増とするのか、医業収益の増加を図り、支出を抑止するなどの経営改善を図るべき解消策を策定すべきである。

米谷病院建設事業および新クリンセンター整備事業

(9月20日現地調査)

米谷病院は1階に外来棟、2階に一般病棟40床、3階には新たに療養病棟50床が整備される。工事は順調に進み、31年2月1日にオープン予定となっている。市民とともに歩んでいく病院となるよう期待する。

新クリンセンターは、31年8月に試運転を行う予定。ごみに対しては、「発生抑制」、「再使用」、「再生利用」の意識を高く掲げ、実行あるものとし、本施設機能が未永く維持できることを期待する。

パークゴルフ場の管理運営

(10月22日現地調査)

コースの整備状況は90%の出来で、予定通りである。チャチャワールド敷地内に(株)いしこしの社有財産があり、今後、指定管理者の公募となった場合、問題にならないか疑問である。子どもとともに楽しめる、魅力ある施設整備にあたられたい。

その他の調査項目

○パークゴルフ場・レクレーション施設条例の制定
○小中学校等再編構想(案)

産業建設常任委員会

日本遺産認定に向け始動



先人の工夫「曲袋」

▼日本遺産認定に向けた取り組み (9月12日調査)

北上川の歴史について、「日本遺産認定」を目指すことが示された。北上川については長い歴史を重ねてきたものがあり、本市の資産として積極的に活用されたい。地域活性化や交流人口拡大にもつながるものであることから、実現できるよう期待する。

▼上下水道事業の組織統合 (9月12日調査)

下水道事業を上下水道事業と統合し、地方公営企業法の全部適用を目指す方向が示された。本市水道事業の大きな転換であり、複式簿記導入による経営の見える化や運営のスリム化が期待できる。

▼産業振興会との意見交換会 (10月30日調査)

市内企業の現状、産業界が抱えている問題点等について意見を交換した。また、これに先立ち、(株)スタンレー宮城製作所、マル二食品(株)の2企業の工場見学を行ったが、実際に現場を目にしたことで企業理解が深まるものであった。

その他の調査

- 宮城県総合畜産共進会視察
○有機センターの管理運営
○事務事業評価
○道路市民通報システム

行政視察報告

11月13日～14日

▼岩手県紫波町 木質バイオマス利用

紫波町は近年、中心市街地周辺を再開発し、新たな街「オガールエリア」を誕生させた。一方で、町域の半分以上が森林であり、林業も盛んに行われているところだが、松くい虫等の甚大な被害を受け、壊滅的な状況の山林が広がる。

この立枯木材を熱源資材として再評価し、先のおガールエリアでの集中供給事業の燃料として活用している。本市においては、伐採期を迎えた山林が、かなりの面積で現存しているが、捨て材扱いとなるものも多い。間伐材や被害木を含む有効利用について、様々な観点から検討を行い、林業振興を進められたい。



木質バイオマスの取り組み

栽培が盛んに行われてきた。しかしながら近年は、生産者の高齢化が顕著になり、将来の農業基盤維持が課題となっている。今回視察したGPS地上基地局の運用は、農業機械自動操舵システムの操作性を飛躍的に向上させる。本市でも、生産者の高齢化による農業基盤の維持問題は、待ったなしの課題である。若手後継者の期待も大きいGPS基地局整備は、まさに望まれているインフラ整備と認識するものであり、時間をかけず整備の実現に取り組みきたい。

▼岩手県花巻市 農業のICT化

花巻市では、平野部で穀物

議会改革推進会議

10月31日～11月1日

■岐阜県可児市議会 全国初 常任委員会代表質問導入

常任委員会を中心とした政策形成サイクルが体系化されている可児市議会では、全国初となる「常任委員会代表質問」を実施している。実現までには議会基本条例を改正。各常任委員会が調査・研究した案件の中で、全会一致の案件等について、常任委員会代表者が首長と政策論争を行うもので、政策形成サイクルが一段と強化されている。

■愛知県 岩倉市議会 積極的な住民参加と情報共有を推進

市民と対話をする機会を積極的に作り出している岩倉市議会では、市民との意見交換会に参加者一人という苦い経験を持ちながらも、決して止めることなく、テーマや場の持ち方を工夫し、積極的に市民とふれあう機会を設けている。また、議会サポートを市民公募と無作為抽出の2通りで募り、議会への市民参加を高めている。議員総出で議会モニターの委嘱通知の封詰め作業、議会基本条例の検証を行うなど、議員が動き、活動を振り返りそして次の行動につなげるサイクル化がなされている。



可児市議会

Table with 5 columns: Ranking Item, Overall Rank, Information Sharing, Resident Participation, and Functional Strengthening. Rows include Mie City Council, Iwabe City Council, and Toyouke City Council.

【参考】議会改革度調査2017 (調査元:早稲田大学マニフェスト研究所)

本市議会による事務事業評価 評価結果・政策提言



平成30年12月4日、熊谷市長に提出しました。

福島第二原発事故放射能汚染対策特別委員会

11月29日～11月30日

■農研機構(栃木県那須塩原市) センチュム汚染牧草の堆肥化利用の取り組み

農研機構と本市は、29年7月から農業系汚染物の再生利用方法の検討・開発を協定研究している。実施期間限を31年3月31日としていることから調査を行った。農研機構で調査された様々な方法から最も適した手法が提案され、現在、本市の堆肥センターでも実証試験が進行中である。結論からは、農業資材としての利用が可能であり、400ベクレル以下の汚染牧草処理に方向付けがなされたと考える。今後は、残された汚染牧草の一刻も早い処理を望む。



農研機構での実証実験の様子

■リプルンふくしま(福島県富岡町) 特定廃棄物の埋立処分事業

ここで埋立処分される指定廃棄物は焼却灰、下水汚泥、浄水発生土、農林業系副産物のうち1kgあたり80000ベクレルを超え10万ベクレル以下のものを対象としている。環境省は、この特定廃棄物埋立処分事業の内容や安全性についての情報発信基地として「リプルンふくしま」を処分場近くに設けている。施設内では最新のITを利用し、わかりやすい説明がなされている。

問 学校教育施設等へエアコン設置を

答 早期の設置を目指していく



相澤吉悦 議員

問 本年、国では公立小中学校等へエアコン設置に向けた補正予算が成立した。本市でも、いち早く条件を整え、国・県へ財政措置を要望すべきと

答 本市においても、臨時特例交付金と合併特例債を活用しながら、市立幼稚園、小中学校の普通教室等への冷房設備について、可能な限り早期の設置を目指していく。

問 来年度から使えるように、意を決して努力してもらいたい。

答 肝に銘じて、頑張っていく。

有機センターの環境整備を早急に

問 本市の有機センターを見ると、設置当時は違つて老朽化が進み、かなり環境が悪化している。早急な環境整備が必要と思うが。

答 有機センターを段階的に機能集約し、豊里有機センターを除く5施設を3施設に集約する。稼働率を高め、残りの2施設は集積、保管施設とすることで、ストックマネジメント事業の活用を見込む。有機センターの機能を回復させ、周辺環境へ与える影響を低減させたい。



快適な教育環境の整備を

問 機能集約を進めるにあたっては、慎重に地域に説明すべきと思うが。

答 地域住民や関係者に丁寧に説明しながら、しっかりと対応していく。

問 歳入確保の取り組みについて伺う

答 財政運営健全化の確保に努める



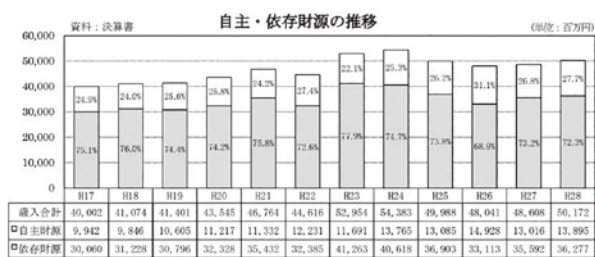
佐々木好博 議員

問 25年の徴税率ランキングで本市は、全国1742市町村中1248位となっている。収納率向上対策について伺う。

答 29年度時点で未収債権は10億3179万円となっている。回収促進とさらなる収納率向上に努めていく。

問 市税等財源確保のためにも、市内産業の育成の取り組みを行わなくてはならない。そのためには、市内経済の詳細な動向把握が必要と考えるが、RESAS等を利用して、詳細分析を行っているか。

答 RESASは活用しつつも、詳細な情報分析



※1 RESAS (地域経済分析システム)…産業構造や人口動態、人の流れなどの官民ビックデータを集約し、可視化するシステム
 ※2 トランディション・タウン…石油エネルギーなどに依存しない持続可能な社会へ移行していくために、市民が自発的に地域の暮らしを考え、行動し、意識をもって日々の暮らし方を変えていこうとする運動
 ※3 エシカル (倫理的) 消費…消費者それぞれが社会的課題の解決を考慮したり、そうした課題に取り組む事業者を応援しながら消費活動を行うこと

問 津山、登米診療所の今後は

答 公設民営も選択肢の一つ



沼倉利光 議員

問 津山、登米診療所は現在休診の状況だが、今後の見通しについて伺う。

答 医師数の減少等により、収支も悪化している。

答 両診療所は、やむなく休診しているが、公設民営は今後の大きな方向であり、選択肢を広げ検討していく。

問 高齢者運転免許自主返納事業に係る対象年齢は65歳であるが、元気高齢者が増えている。見直す考えはないか伺う。

答 一般的に高齢者を65歳以上と位置付けている。本事業は、自主返納するものであることから、今後も65歳以上で実施する。

問 国は人づくり改革で「65歳以上を一律に高齢者と見るのは、現実的でない」としている。本市の65歳から69歳の人数は。

答 昨年12月末現在で7597人。

問 同時期における同年代の免許所有者は、6876人いる。約9割の方が所有しているが、年齢を見直す考えはないか。

答 検討したい。



再開が待たれる診療所

問 「みやぎの明治村まちづくり」について

答 地域住民と連携し進める



伊藤 栄 議員

問 「みやぎの明治村まちづくり計画策定後は、街並み景観事業補助金の増額、警察資料館リニューアル、そして新懐古館の建設を実施している。しかし、警察資料館周辺整備および武家屋敷通り(前小路)の電柱地下埋設や個人所有物である歴史的建造物の保全、民俗文化財の伝承保存での具体的な事業は、いまだに手つかずとなっている。

問 みやぎの明治村まちづくり計画書・推進協議会の報告まで、多くの市民が関わってきたが、いまだ実施されていない前出の件は、どう検討されているのか。

答 31年度には新懐古館のオープンが見込まれ、観光客の回遊ルートもこれまでと大きく変わるものと予想されることから、警察資料館周辺整備等の方向性について、新たな回遊プランの構築とあわせて取り組みを検討する。



開館が待たれる(仮称)新登米懐古館

問 オーストラリア・フレザーコースト市との姉妹都市締結に向け、機は熟していると思うが。

答 姉妹都市に向けて準備にとりかかる。

問 鳥獣被害対策の見直しを

答 次期計画策定で被害軽減を講じる



佐々木幸一 議員

問 被害の現状(被害額、生息分布)をどう把握しているのか。

答 29年度は1160万円、被害は増加の状況にある。特定鳥獣の二ホ

ンジカ、イノシシ、ニホンザル、ツキノワグマの目撃情報はあるが、被害は確認されていないものもある。

問 鳥獣被害が深刻化してきた要因をどう捉えているのか。

答 耕作放棄や山林荒廃が発生し、鳥獣にとって食物や水のある場所、茂みなど身を隠す場所、人間の活動が少ない場所が



増加傾向にある鳥獣被害

増加していることが要因と捉えている。

問 市の対策として、鳥獣被害防止計画を策定しているが、対策の効果と検証はどうされているか。

答 防護柵等設置や狩猟者確保対策を実施。被害額の軽減目標の達成には至っていない。

問 今後の対策の方向として、防獣、駆除、人材育成、出口対策を体系化して考えてはどうか。

答 そのように認識しているが、特に出口対策としてジビエの調査・研究をしていきたい。

問 個人の対応には限界がある。集落ぐるみの対応を基本に、多面的機能支払事業を活用している例もあるが、どうか。

答 市内にも事業を活用した防護柵の設置・補修をしているところもあるので、情報提供していく。

問 高い国保税の引き下げを

答 基金を活用し負担軽減に努める



佐藤恵喜 議員

問 国保世帯の所得が下がり貧困化が進んでいる。本市は3年連続で国保税を下げているが、依然として高い。基金の活用などで、来年度さらに引き下げるべきではないか。

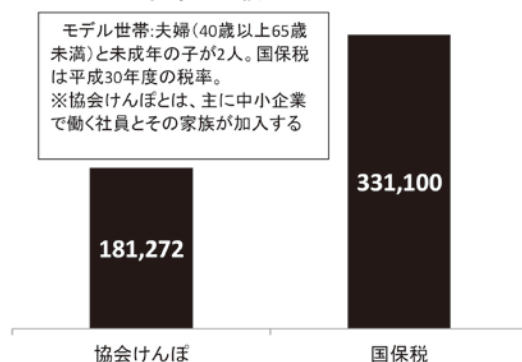
答 持続可能な国保運営を前提として、可能な範囲で財政調整基金を活用しながら、被保険者の負担軽減に努める。

問 子育て世帯を支援するため、仙台市のように「均等割り」の減免をすべきではないか。

答 全国市長会が国に対して要望している。実現に向け取り組む。

問 本市は、なぜ資格証

国保税は協会けんぽの1.8倍
モデル世帯の比較 総務部資料から作成 単位:円



明書の発行が多いのか。減らすべきだ。

答 滞納者に国保税の納付を促すためのもの。他市町村よりは多いが、該当世帯の審査は特別の事情の有無など、しっかりと聞き取りを行っているので、理解願いたい。

問 女川原発の再稼働はあり得ない

答 女川原発再稼働に関する事前了解権を女川町

と石巻市以外の周辺に広げるため、市長は県知事に対し、新しい立地協定の締結を求めるべきだ。

問 UPZ関係自治体が県と締結した覚書は、立地自治体の事前了解に準じた内容と理解しているか。

答 国や県と連携し、実効性の向上に努める。

問 陸上競技場建設予定地の地盤対策は

答 詳細なボーリング調査が必要



岩瀬正弘 議員

問 市民からは、「陸上競技場はいらぬ」という声を多く聞く。市民に対し、意識確認のアンケートを取るべきでは。

答 市議会での審議や登米市陸上競技協会、登米市スポーツ推進審議会での協議、また、パブリックコメントなどの機会を通じて市民の意向を確認したいと考えており、アンケートは現段階では予定していない。

問 工事費、施工性、工期のうち、いずれを優先する考えか。

答 本市の財政状況を考えると、工事費を優先に検討せざるを得ないと考える。



軟弱地盤では、豆腐の上に建設するのと同じ。多大なお金がかかる

問 中田候補地を優位と判断し、基礎調査が行われた。地盤改良等の基礎地盤対策の実施の可能性は低いという結果が得られたとのことである。しかし、地盤の残留沈下、地震時の液化化、既設構造物(鉄塔、カルバートボックス、用排水路)への近接施工や、施工後の引き込み沈下の対策には、莫大な費用が必要と

なる。よって、中田候補地は適切でないと考え

が。

答 競技場は約5ヘクタールの広大な面積になることから、今後の整備には、詳細なボーリング調査による解析が必要と考える。また、特に鉄塔への近接施工については、東北電力と安全性の確保に関する協議が必要と考

問 牛マルキンを地域算定方式に

答 来年度から変わると認識



氏家英人 議員

改めるよう関係機関に働きかけをすべきでは。

問 現在、県畜産協会では実情に沿うよう地域算定方式への変更を検討している。市として来年度には変わると考えているか。

答 市民からの道路補修などの要望に対して「対応が早くなった」という声もある。一方で、慣れない現場対応など職員の負担増は否めないが、所信で表明した「それぞれ地域の特性を生かしたまちづくり」に向かっていくと確信している。

問 新たに「地域づくり検討会議」を設置したが、現在、21コミュニティが取り組んでいる「地域づくり計画」もある。どのように関わっているのか。

答 「互いに補完し合い、より良い地域づくりを目指す」という共通目標に向かって歩むものである。



本市は仙台牛の里、生産現場の不安な声に応えるために

問 観光客増への新たな取り組みを

答 多角的な情報発信に努める



熊谷和弘 議員

問 栗原市や大崎市では、仙台のラジオ局Dartefmから週1回、情報番組を発信している。本市においても、ラジオ番組による情報発信を検討すべきと考えるが。

答 今後、他自治体の取り組みを参考に検討する。

問 栗原市では、市内の観光地やイベントを紹介するため、テレビでスポット・コマercialを流している。本市においても、このような取り組みを考えたことはあるか。

答 より便利で、より多角的な情報発信に努める。

問 「米川の水かぶり」がユネスコ無形文化遺産に登録された。本市としてどのようにPRし、情報発信していくのか。

答 現在、東和町米川を含む宮城、岩手県境のキリシタン関連史跡が注目されている。両県の史跡保存関係者がアピールしよう連携を強めている。今後、本市としてどのように関わっていくのか。

問 関係者と話し合い、支援などを検討する。

問 2020年の夢フェスタ水の里は津山町が舞台で、「イナイリユウ」が題材の候補が上がっている。来年(19年)は化石発見から80年となる。津山町への常設資料展示場設置などの取り組みを始めるべきと考えるが。

問 関係部署が連携し、整理しながら検討する。

問 米谷病院の建設状況は

答 11月末に完了、引き渡しとなる



日下俊 議員

問 米谷病院は12月完成予定だが、工事の遅れや問題点はないか。

答 工事は順調に進み、11月30日に引き渡しを受けた。31年2月の開院に向け準備を進めている。

問 医師、看護師、技師などの採用状況と現時点での問題や課題がないか。

答 今後、常勤医師3名で運営していかなければならないこと、看護師についても不足しており、職員の確保に努めている。

問 米谷病院の総事業費はいくらか。工事中の大きな問題はなかったか。

問 約40億円である。問題点としては、ヒ素が出たため、10カ月かけて土壌改良を行った。

問 現在の施設は、いつまで解体を完了するのか。

問 31年11月までに解体を完了する予定である。



新築の米谷病院

問 薬局は「院内処方」「院外処方」のどちらになるのか。

答 現在は院内処方になる予定である。

問 新病院の災害時対応は、どのようになっているのか。

答 電源装置は3階に設置し、通常時の4割をカバーするよう設計。エレベーターも1基、非常用電源で稼働するよう設計した。

問 国道県道整備要望と市道維持管理を

答 適切な対応、要望と修繕に取り組み



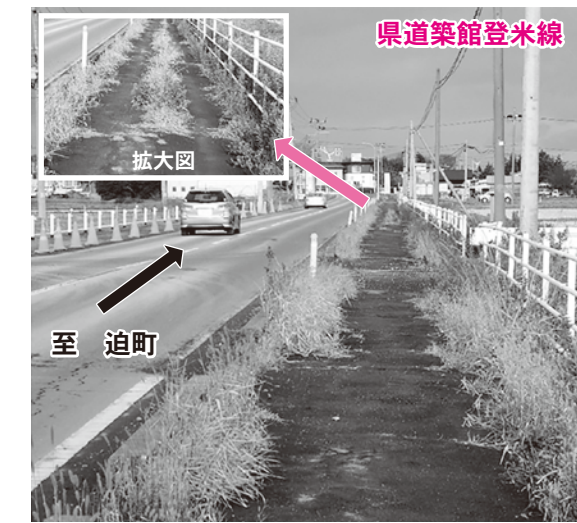
須藤幸喜 議員

問 市内にある道路は、国道、県道、そして市道においても維持管理が行き届いていない。

答 草が生え、自転車や歩行者も車道を通行している状況だが、国・県への要望は適時行われているか。

問 舗装面の穴や段差補修、排水側溝の土砂撤去、除草作業や街路樹剪定など多岐にわたる通報・要望が寄せられる。

答 通報・要望内容を確認、現地調査を踏まえ、適切な管理をお願いしている。



通行に支障をきたしている歩道

問 再度、徹底した管理に努める。

問 本年度現在の不良債務状況と一般会計からの基準外繰り入れの考えは。

答 不良債務が12億3千

問 どうする登米市医療の再生

答 臨床研修病院指定に向け取り組む



浅田修 議員

問 よねやま診療所を休診にしようとしているのではないか。

答 2名の常勤医師が定年退職を迎えるが、透析治療を続けてほしいとの要望があり、定年を延長するなど、今後検討する。

問 治療のプロの専門医だけでなく、総合専門医を確保し、地域医療を充実させる施策を。

答 東北大学に寄附講座を設置するなど、総合医育成の態勢づくりに努めている。

問 本年度現在の不良債務状況と一般会計からの基準外繰り入れの考えは。

答 不良債務が12億3千



休診が心配されるよねやま診療所

問 万となっており、繰り入れも今後の検討課題である。

問 基幹型臨床研修病院指定導入に向け、医師の負担増が予想される。同意は得られているか。

答 理解されているものと捉えている。

問 医療接遇に問題は。地域に親しまれ、信頼される病院を目指す。地方独立行政法人化への移行について伺う。

問 権限と責任の明確化に資することが期待される「非公務員型法人」への移行を検討していく。

問 病院新築構想は。

答 若い医師を迎え入れるためにも、病院の環境整備を進めていく。

問 小河川流域の安全対策を万全に

答 想定外の災害、備えは重要と認識



岩淵正宏 議員

市管理の小河川は、災害が起きてからの補修や改修が当たり前になっている。異常気象により豪雨や長雨が頻発する昨今、災害の未然防止の点

からも、河床の土砂撤去や洗掘されている護岸の補強など、河川流域に住む住民の生命と財産を守る施策が急務ではないか。

市で管理する準用河川および普通河川は、登米町、東和町、津山町に集中している。市内においては基準超えの降雨があったものの甚大な被害はなかった。全国的には、



小河川の定期的な見守りを

堤防決壊や氾濫被害が頻発しており、想定を超える災害に対する備えは重要と捉えている。災害発生の可能性がある箇所の情報収集に努め、予防保全の取り組みを調査・研究していく。

観光振興の課題

「鱒淵川の源氏ボタル」の観光対策は。

毎年渋滞が発生し、保存会から車両の誘導や駐車場の確保が難しいと申し入れがあった。

東和町域の公共施設に駐車し、生息地まで別の方法で移動していただく。

ユネスコ無形文化遺産登録になった「米川の水かぶり」。シタイプロモーション利用への計画は。

行事開催日以外に訪問した観光客が内容を確認できるなど、多角的な情報発信に努める。ゆるキャラも考えてみたい。

問 古い標識等の修繕、撤去の考えは

答 景観や必要性を見極め予算に反映



中澤 宏 議員

古い標識・看板の修繕、撤去をどう進めるか。

現在、必要性が薄い看板なども見られることから、景観における影響や必要性を個別に見極

め、修繕や撤去を判断し今後の予算に反映する。

医学生、研修医がたくさん集まるまちづくり

学生時代に学ぶ病院や地域の皆さまの温かい愛情などの印象が「この地で働いてみよう」と思う動機になると聞く。医学生・研修医が本市で学んでいただけこの機会を医師確保の最大のチャ



日焼け、風化により劣化が進む看板

問 予防接種助成、消極的なままで良いのか

答 まずは、できるところから検討する



曾根充敏 議員

子どものインフルエンザ予防接種助成について、消極的なままで良いのか。

これまでは、助成の対象としていない。

財源を理由として、

高齢者には助成しているものを、子どもには助成できないとする消極的な姿勢が残念でならない。

一部助成や受験生だけでも、助成できないのか。できるところからやる姿勢を見せないと、いつまでも消極的なままとなるが。

私（市長）自身もこのままではいけないと思っている。しかし財源の問題もあるため、まずは



子どもにも積極的なワクチンの助成を

（できる範囲で）やる価値はある。早速検討する。

今までの「やらない姿勢」ではなく、「できることからやる」という、積極的な姿勢への転換と理解してよいか。

私（市長）の答弁だ。そのとおりである。

女性の立場に立った乳がん検診を

異性による乳がん検診をためらう方が多いと

聞く。女性技師が多い市民病院で、乳がん検診を実施できないものか。

機器や技師は問題ない。事業として「検診にどれだけ割くか」の検討が必要だ。今、女性技師の養成にも取り組んでいる。

問 県北高速道全線専用道化の要望を

答 早期事業化に向け、強く要望する



関 孝 議員

II期区間（中田工区）が、12月25日に開通することが公表された。県は「2020年度全線開通を目指す」としているが、V期区間（北方バイパス）については、いま



県北高速幹線道路中田工区開通式

だ自動車専用道として事業計画化されていない。市民の命を守る道路、工業団地を結ぶ産業振興道路として、北方バイパスの事業化に向けて県へ強力に働きかけるべきだ。

県の回答は「北方バイパスの現道利用区間については、交通安全上の課題もあることから、自動車専用道路としての連続性の確保を目指し、III期区間の供用に伴う周辺

交通量状況の変化を見極めながら、事業化の可能性を探っていく」とのことである。今後も早期の事業化に向け、国および県に対し、関係自治体とも連携しながら機会を捉え強く要望していく。

学校予算の課題は

学校現場では、限られた予算の中での運営に苦慮していると聞く。

現状と課題をどう捉えているか。

本市の厳しい財政状況において、学校教育予算についても縮減に努めている状況にある。今後、効果的な予算配分の方法について検討の必要がある。

コミュニティスクールに係る予算の充実を

その辺も考えていく。

問 本庁舎建設と機能のレベルアップを

答 将来的庁舎建設基金の創設を検討



八木しみ子 議員

問 追庁舎は昭和50年に建設されたもので、老朽化が進み改修等に多額の費用を要することが想定される。さらに、中田庁舎と南方庁舎に業務を分

散する分庁舎方式で市政を運営しており、このままでは行政機能の低下等が続くのではないかと懸念している。

答 合併以来の分庁舎方式であるが、施設の老朽化だけでなく、来庁者にもご不便をかけている。1階の総合支所においても待合スペースの確保やプライバシー保護の対策が不十分など課題を認識している。



市役所体制の集約化を目指すべき

問 公共施設については、財政負担を軽減し長寿命化等で適切な管理運営に取り組むとしているが、

答 経過年数の浅い南方、豊里、津山を除く6つの庁舎の建物・設備の診断を計画的に行い、現状を把握することとしている。

問 本庁舎建設を再考できないか。

答 優先すべき課題が多く、庁舎は既存施設を可能な限り有効活用することが最善と考えている。

問 新庁舎建設の必要性も十分理解しており、将来的な整備に備え庁舎建設基金の創設など、財源確保対策を検討していく。

問 行政のネットワーク化の確立は、

答 分庁舎方式を進める中では、連携の強化は重要な課題である。行政サービスの展開を図るためにしっかりと取り組まなければならない。

問 市独自の地域包括ケアシステムを

答 全国的な事例等を基に研究したい



佐藤千賀子 議員

問 訪問診療を行う診療所が中心となり、医療、介護および助産院の連携による子育て支援を行う、「登米市オリジナルの包括ケアシステム」の

構築の考えはないか。答 これまで、有効な子育て支援につながった事例はあるが、各機関の連携の方法などの課題があるため、全国的な事例等を基に研究したい。

問 育児の不安を抱える母親にとって、産前産後ケアは特に大切と考える。助産師がいれば、当該不安の多くは解消されると考えることから、休診し

ている診療所を利用し、助産院を開設する考えはないか。答 嘱託医師や助産師などの確保が難しいことから、課題が大きいものと考えられる。

問 産後の母親に対して、どのような支援がなされているか。答 補助金の支出はないが、保健師と助産師と一緒に訪問相談するなどの支援を行っている。

問 本市で出産ができない環境であるにしても、産後のケア体制は充実させるべきで、特に母親が一人でゆっくり休める場の整備が重要と考えるが。

答 子育て支援センターへの参加による仲間づくりを推奨している。ゆっくり休める環境整備は、今後の研究課題と考える。



東和町に開設している助産院

問 いじめ・不登校は市民連携の対策を

答 連携した対策が必要と考えている



工藤淳子 議員

問 いじめ・不登校問題のこれまでの取り組みの現状と課題、今後の対策は。

答 いじめの認知件数は小学校1704件、中学校441件の計2145件となっている。不登校児童は小学校14名、中学校89名の計103名となっている。不登校児童への対応は、けやき教室や子どもの心のケアハウスを設置し、学校以外の居場所づくりや訪問指導員の派遣など支援している。

問 地域の不登校児と家族を支援する「ほっとスペースわかか」などがある。こうした地域や

市民、議会が一緒になった対策が必要ではないか。

答 いじめ問題について協議する機会を設けるなど、学校、PTA、地域と連携した対策が必要と考えている。



「ほっとスペースわかか」の集まり

問 子どもの貧困対策の実態調査を

答 30年度に調査内容を検討し、31年度から実施する計画だが、どう進んでいるか。答 子どもや保護者の生活環境、家庭環境など調査し、貧困の実情や支援ニーズの実態を把握するもので、31年度の実態調査の実施に向けて準備を進めているところである。

問 その他の質問

・児童館運営補助金減額について

議会の動き

Table listing various council activities and committees across different dates from 11/2 to 12/14.

あなたの声

市民 メッセージ

わたしの提言

ご意見等をお寄せいただきましたので、ご紹介します。

私は故郷、迫町の実家に住んで7年目になりました。大学では、政治を学び政治学科を卒業しました。政治とは「理想郷社会構築」にほかなりません。これを追求するのが政治の責任だと考えています。「これで良い！」という結論はありません。資金がなければ、税収が増えなければ市民の皆様の要望付託には行政は応える事は難しくなります。議会議員の方は、市民から選択された行政の監視役としての存在意義があります。それと同時に議会議員の方に要望したい事は、行政とも連携を図りながら農業関係者、地域企業（個人企業も含めた）の産業発展のため、登米市民代表の営業者として活動して頂き、地域社会に御協力をお願いしたいと思います。政治と経済は一体です。少しでも企業収益、個人収益が上がり、収税が出来ます様に期待します。



うえの りょう 良さん (迫)

政治と経済は一体です！



あべ めぐみ 恵さん (豊里)

私たちは、東日本大震災で被災し豊里に引越してきました。豊里の方々はとても親切で、明るく声をかけてくれます。二人目の子を出産した時、子育て用品券や幼稚園の授業料の安さなど、子育て世代の私たちには、とてもありがたい支援だと思いました。反対に気になることといえば、ごみ袋の値段が下がったのは助かりますが、取っ手のところなどが壊れやすくなったように思います。それから、私の家の前の道路は大通りではないため、雪の後は除雪がなかなか来ず、しばらく残っています。それぞれの通学路も学校側だけではなく、行政でも再度危険場所をチェックして頂きたいです。また、町民運動会やスポーツ大会も参加できる方が減ってきているので、ルールを変える必要もあると思います。とても細かい指摘ですが、どんな意見でも耳を傾けて行動してくれる議会であることを願っています。

どんなに小さな意見でも

四季彩色豊かな「平筒沼」



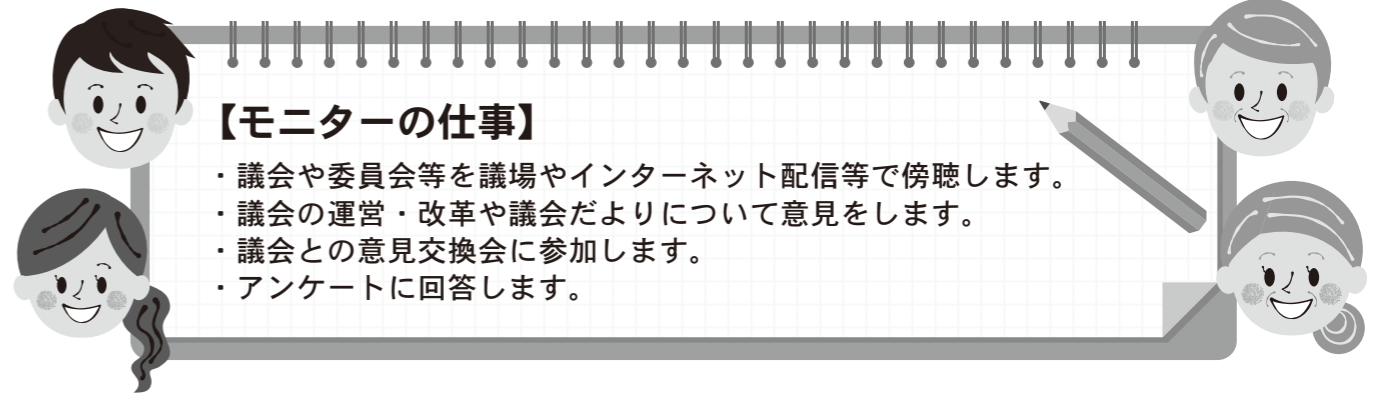
ささき ゆきこ 由紀子さん (米山)

縁あって、米山町に住み始めて18年になりました。自宅の前には平筒沼が広がり、3年前から「手づくりのお店sowaka」を営んでおります。平筒沼には、遊歩道や浮棧橋があり、公園やキャンプ場も整備され、春は桜、夏はハス、秋には紅葉、冬には白鳥などの渡り鳥が飛来し、1年を通して楽しむことができる素敵な場所です。

しかし、ご来店くださるお客様から「平筒沼がこんなにきれいな場所だなんて知らなかった」「こんなに整備された場所なのに、あまり知られていないのが残念ね」などの声を聞くことが多く、認知度が低いことを残念に思います。この素晴らしい豊かな自然環境を守り、活かし、広めていく取り組みを推進いただくことを期待し、次世代に引き継いでいってほしいと願っております。

議会モニター募集

登米市議会では、市民とともに開かれた議会づくりを目指しています。市民の皆さんから議会運営に関して意見を寄せていただくため「登米市議会モニター」を募集します。



【モニターの仕事】

- ・議会や委員会等を議場やインターネット配信等で傍聴します。
- ・議会の運営・改革や議会だよりについて意見をします。
- ・議会との意見交換会に参加します。
- ・アンケートに回答します。

初めての傍聴は
勇気が必要だ
と思います。



FBやQRコードなどで
様々な年齢層への
発信が必要ではない
でしょうか。



議会モニター同士の意見会の様子



議場を小中学生に
見学してもらっては
どうでしょうか。

- 【応募資格】
 - ▼満18歳以上
 - ▼議会運営に深い関心を持つ人
 - ▼地方公共団体の議員でない人
 - ▼常勤の公務員でない人
- 【任期】
 - 委嘱された日〜2020年3月末日
- 【募集人員】20人以内
- 【応募方法】①住所②氏名(ふりがな)③性別④生年月日(年齢)⑤電話番号⑥職業を任意の様式に記入し、市役所迫庁舎(3階)の議会事務局まで持参するか、郵送、ファクシミリ、電子メールのいずれかでお申し込みください。
- 【募集期限】平成31年2月28日(木)まで(当日消印有効)
- 【申し込み・問い合わせ】
 - 議会事務局
 - T 087-10511 登米市迫町 佐沼字中江二丁目6番地1
 - TEL 0220(22)1913
 - FAX 0220(22)9225
 - ✉ gkaijim@Tome.miyagi.jp



お詫びと訂正

とめ市議会だより56号の24ページ、「人権擁護委員候補者の推薦に同意」の氏名の一部に誤りがありました。

お詫びして訂正いたします。正しくは、
瀬戸栄典(せとえいのり)氏
佐々木裕見子氏でした。

人事

人権擁護委員候補者の
推薦に同意

乾 いぬい かずこ
和子氏(迫)

おおなみ しずえ
大浪 静江氏(米山)

平成31年登米市議会定例会が開会



議会開会に先立ち、議員と佐沼小学校合唱隊による市民歌の斉唱を行いました。

議会からのお知らせ

2月定期議会

2月1日(金)開会予定

傍聴してみませんか。

本会議は、簡単な手続きで、個人でも団体でもお気軽に傍聴することができます。

詳しい議会日程は、議会ホームページをご覧ください。議会事務局にお問い合わせください。

12月定期議会の傍聴者は40人でした。

傍聴ありがとうございました。

議会のホームページを開設しています。

登米市議会 検索

議会のホームページでは、議会の情報をお知らせしています。

<http://www.city.tome.miyagi.jp/gikai/gikai-index.html>

議会のfacebookも開設しています。

登米市議会



いいね!をお願いします



あとがき

あけましておめでと
うございます。

1月13日に平成最後
となる「登米市成人式」
が行われました。新成
人821名の皆さん、
自分の夢を諦めないで
頑張ってください。

さて、2月1日発行
の「とめ市議会だより」
も平成の時代として最
後となりました。次は、
新元号のスタートと同
じ5月1日発行の予定
です。

「伝える」から「伝わ
る」広報へ。これからも、

さらに読みたくなる議
会だよりを目指してま
いります。

本年も「とめ市議会
だより」のご愛読をよ
ろしくお願いいたしま
す。(熊谷 和弘)

広報広聴委員会

委員長 日下 俊
副委員長 佐々木好博
委員 上野 晃
曾根 充敏
須藤 幸喜
岩淵 正弘
佐藤千賀子
熊谷 和弘
関 孝

議長 及川 昌憲